

令和7年度 大江地区福祉活動計画評価表

スローガン	感謝のこころでふれあう地域づくり
-------	------------------

重点課題	地域交流「地域住民間における交流する機会の拡充」
------	--------------------------

事業名	推進方法	評価
三世代交流の促進事業	○大江地区小運動会（秋）・さつまいも（夏・秋）・餅つき三世代地域交流会（冬） ・より多くの地域の方にも足を運んでいただけるよう、周知活動を行う。 ・参加児童、保護者、地域住民と連携する。 ・海津小学校との関わりを保ち、昨年度に引き続き、出来る行事を継続する。	○
	○大江地区三世代交流グラウンドゴルフ等スポーツ大会（秋） ・参加者の募集など、自治会の協力を得て、三世代が集まる地域交流の場とする。 ・校区内外の子どもたちの参加を図るための方策を講じていく ・「大江地区社協だより」などで、開催と参加者募集の案内を掲載していく。 ・雨天となった場合の交流会を、実施可能な屋内種目を考えていく。	×
	○大江地区の広域なサロンを計画 ・いきいきふれあいサロンの普及啓発を目的に、年に1回70歳以上の高齢者を対象として、「まめでいりゃーす会」及び「ひとり暮らし高齢者のつどい事業」を実施する。 ・参加者全員が、互いにふれ合える環境づくりをする。	○

現状および今後の方針
・8年度は、基本、大江地区の方々での行事（大江地区から市外の出たの方々については参加可）として活動していく。 ※身体の不自由な方の参加の希望があれば送迎の補助が可能（はつらつ海津） ※地域のために飲み物やパンなどの提供も可能である。（ 〃 ）

重点課題	防災「防災・減災に対する意識の高揚」
------	--------------------

事業名	推進方法	評価
防災意識の向上事業	○講習会などの開催 ・災害は身近にあるものだとし、防災意識と知識を高めるために開催する。 ・講習会の開催は、地域住民の集まる機会を捉えて開催する。 ・消防団員の参加を得て実施する。 ・昨年度実施できなかった防災備品などを活用した訓練を行う	○
	○災害対策 ・地区内における自主防災活動情報を共有する。 ・避難所（大江体育館、海津総合教育センター）の防災備蓄品を確認し、補充備品などを市に要望する。	△
	○広報誌による防災関連の情報を共有する。 ・防災意識と知識を高めるための最新情報を掲載する。 ・講習会の内容を記事等で紹介する。	○

現状および今後の方針
・参加型・体験型の講習会を今後も継続していく。特に、高齢化が進み、講習会の必要性を感じる。今後、一層参加者を増やす工夫をしていく必要がある。 ・消防団（大江地区）の参加を今後も要請していく。 ・体育館（避難所として活用）の空調設備の設置が今後待たれるところである。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 大江地区福祉活動計画評価表

スローガン		感謝のこころでふれあう地域づくり		
重点課題		見守り「地域での見守り活動の積極化」		
事業名		推進方法		評価
見守り活動の促進事業	○子どもたちへの見守り ・登下校の見守りを行うため、学校と協力し、バス停及び、交差点毎の当番表を作成する。 ・増員を図るため、地区社協便りにて見守りボランティアを募集し、増員を図る。 ・地域住民に対して、通学路周辺での子どもたちの見守り活動への協力を呼びかける。 ・通学路の登下校時間帯での車両などの速度の規制について働きかける。		○	
	○生活支援推進会議 ・自治会長、福祉推進委員、民生委員児童委員、運営委員による福祉懇談会を開催する。 ・定期的に福祉懇談会を開催し、活動の具現化を協議する。		○	
	○くらしを支え合う活動・大江 ・生活支援「大江ん隊」の啓発と普及を図るためのサポーターを募る。 ・生活支援「大江ん隊」の充実を図るため、サポーターの集い、研修会を開催する。		○	
現状および今後の方針				
・通学バスの運行2年目となる。事故無く1年間が終わり良かった。 ・大江ん隊への支援要請が複数寄せられる様になった。認知度が上がったことや支援を必要とする高齢者が増えつつあることから、一層きめ細かな声掛けをしていく。 ・大江んバスの運行は利用者に喜ばれている。行き先を利用者の要望に合わせ、平田地内や多度地内の店舗に拡大していく。				

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和7年度 大江地区福祉活動計画評価表

スローガン	感謝のこころでふれあう地域づくり
-------	------------------

重点課題	広報「地域住民に対する地区社協の認識度の向上」
------	-------------------------

事業名	推進方法	評価
地区社協の啓発活動事業	○地区社協の広報活動 ・自治会長を通して、「大江地区社協便り」の早期配付を依頼する。 ・地区社協の活動が住民に伝わるよう、読みやすい内容になるような紙面とし、カラー版を継続する。 ・大江地区社協の事業などを広く知ってもらうため、地区の公共施設、商店、作業所、福祉施設、交番などへも広報紙を配布する。	○
	○イベントや部会活動の広報活動 ・「大江地区社協便り」に掲載するため、部会員が協力し、撮影や関係者に取材する。 ・イベント開催の案内や参加者の募集を掲載する。 ・各部会の活動予定及び実施行事を掲載する。 ・各自治会活動・行事などを掲載する。 ・健康づくりに関する情報を掲載する。 ・防災に関する最新情報などを掲載する。	○

現状及び今後の方針
・地域住民に読みやすく分かり易い内容となるような紙面づくりをしていく。昨年度開設した、地区社協のInstagramの充実を図っていく。 ・自治会員宅への配付とともに、高齢者施設、公共施設（郵便局、交番等）、商店・飲食店への配付を強化することで、当社協の認知度をより高めていきたい。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった